

笹の葉に込める願いは「みんなの幸せ」

7月上旬、特別養護老人ホーム平寿苑において「七夕飾り」の飾りつけが行われ、笑顔があふれる和やかな雰囲気の中、折り紙で作った飾りや短冊などをご利用者と職員が一緒に飾りました。ご利用者の願いが書かれた短冊には、ご自身の健康や生活などのほか、ご家族の幸せを願う言葉がたくさん書かれていました。願いが必ず届きますように。



## 災害ボランティアセンター (災害VC) とは？

被災地の復旧・復興を目的に設置され、地域のニーズ・問題の把握や整理のほか、支援活動に訪れるボランティアの受け入れや調整を行います。基本的には、災害発生から3日以内に設置されます。

- 被災者のボランティアニーズの把握
- 障がい者、高齢者等の災害時に支援が必要な方の状況確認と支援
- 被災者のボランティアニーズの把握

### 何をするとこころなの？

災害VCでは、地元住民や行政だけでは対応できない部分の復旧・復興の支援などを目的に、次のことを行います。

- 障がい者、高齢者等の災害時に支援が必要な方の状況確認と支援
- 被災者のボランティアニーズの把握

### いつ、どこに設置するの？

地震や風水害などにより、市内に被害があった場合に、災害VCの設置を検討します。なお、設置場所を事前に決めていますが、災害規模などに応じて適切な場所に設置します。



## 横手市の災害VCの概要

平成二十四年度

に横手市や秋田県社協等と協働により「横手市災害VC設置マニュアル」を策定し、これを基に設置や運営を行います。

被災地の『願い』とボランティアの『思い』を結ぶ

# 災害ボランティアセンター

- 市災害対策本部や関係機関への情報提供及び支援要請
- 災害ボランティアの受け入れ、ボランティア保険加入手続き
- 災害ボランティアと支援を必要とする地域住民のコーディネート など

### 被災地への対応

復旧・復興のお手伝いが必要な場合、災害VCにボランティアを要請していただきます。また、被災による生活相談等にも対応します。

### 【活動例】

- 震災時 屋内外の掃除・片づけ、引越、話し相手、炊き出しなど
- 風水害時 屋内外の掃除・片づけ・泥出し、家具等の搬出など
- 雪害時 除雪活動、外出時の支援など
- 生活相談 困りごと、各種資金の貸し付けなど

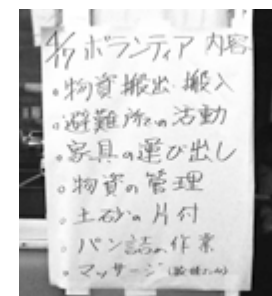


貸出用資材も準備します

### ボランティアへの対応

全国各地から訪れるボランティアと、被災地から寄せられたニーズをマッチングさせ活動につなげます。

### いつまで設置されるの？



ある程度の復興が進むと、一旦、閉鎖しますが、地域の復興への取り組みは続きますので、通常のボランティアセンター事業などで地域のニーズに対応します。なお、東日本大震災の被災地では「復興支援VC」等と名称を変え、現在も生活再建に向けた支援や地域のコミュニティづくりなどを行っています。

チラシを使いながらニーズの把握に努めます



大船渡市社会福祉協議会  
復興ボランティアセンター チーフコーディネーター

伊藤 勉氏



大船渡市社協では、震災翌日に災害VCを設置し、これまで3万人近いボランティアの協力をいただきました。

電話も通じない中、市と連携し素早く設置できたことは、毎年の防災訓練の成果だと思えますが、訓練と違い情報も準備もない中での運営は不安でした。そんな時、県内外から社協職員が応援に駆けつけてくれたことは本当に支えとなりました。また、開設当初のボランティアのほとんどは地元の方で、特に中高生が多く、地域に元気を与えてくれました。

そして、ニーズ把握で欠かせないのが民生委員との連携です。停電やガソリン不足で徒歩や自転車での状況を確認するも範囲が広く時間が掛かっていましたが、民生委員に高齢者世帯等を中心にニーズ把握などをしていただくことにより、素早い対応が可能となりました。職員が少ない中での協力者は本当にありがたく、普段からの地域とのつながりが大切だと改めて感じました。

現在は「復興ボランティアセンター」と名称を変更し、仮設住宅からの引っ越し支援などを行っています。まだまだ復興への道のりは遠いですが、全国の支援者の力を借りながら歩んでいきたいと思えます。



作成したマニュアルを基に、毎年市や関係機関等と合同による設置訓練を行います。



災害VCによる地域のニーズ調査だけでは、人的にも情報量的にも不足してしまいます。そのため、地域の方々からの情報提供が大切であり、日頃からの声掛けや見守り、地域の状況把握により、迅速かつ的確な情報収

日頃からの準備

災害VCを設置・運営  
するために大切なこと

見直しと訓練

マンニアル整備や資格等があっても、事前準備や実践経験が無いと、迅速かつ的確に対応することは困難です。そのため、マンニアルの確認・見直しやセンターの設置・運営訓練などを行います。

集ができるよう、ネットワーク活動や住民支えあいマップ作成などを進めます。



住民の願いを胸に(写真洗浄ボランティア)

「天災は忘れた頃にやってくる」。言葉通りであれば、忘れることのないよう日々、備えを心がけ、万が一災害が発生した場合でも、被災地の復旧・復興の「願い」とボランティアの「力になりたい」という「想い」をしっかりと結べるよう体制を整え、誰もが安心して暮らせる「災害に強い」地域づくりを目指してまいります。

災害VCの体制とスタッフ

体制(班編成)

災害VCは、役割に応じて班を編成し、各班の連携により運営されます。

- 総務班：総務・会計担当…センター内の管理・調整や会計、庶務全般など
- 総務班：広報・情報担当…広報活動、情報収集・発信、活動集計・報告など
- ボランティア受付班…ボランティア受付事務、総合相談対応など
- ニーズ班…ニーズ調査、依頼件数等のまとめなど
- マッチング班…マッチング作業、活動前のオリエンテーションなど
- 送り出し班…活動先の案内、車両管理、資材の受け渡しなど

スタッフ

地元の社協職員を中心に、県内外の社協職員による後方支援や、NPO、住民等の協力を得ながら運営されます。

なお、秋田県と秋田県社協では、災害発生時に被災地のボランティア活動支援や、災害VCの設置・運営の中核となる「災害ボランティアコーディネーター」を養成しており、本会では、すでに職員14名が修了し、現在、新たに6名が受講中です。



東日本大震災では、コーディネーターを中心に本会職員7名が、後方支援として現地災害VCの運営に携わりました。



### 雄水苑

## 皆さんのお話を聴かせてください

### 傾聴ボランティアとの茶話会

7月10日(水)、雄水苑のご利用者と傾聴ボランティア「ひまわり」の皆さんとの茶話会が開催されました。

傾聴ボランティア「ひまわり」は、毎月、雄水苑でご利用者の話し相手となる活動をされており、今回は普段参加されていない方も一緒に、みんなで会話を楽しみました。

初めてボランティアとお話したご利用者からは「有意義な時間を過ごせた」「今度はゆっくりお話ししてみたい」と好評で、ボランティアからも「普段とは違う体験をし、いい経験になった」と感想をいただきました。

また、西部地区では「傾聴ボランティア養成研修」を開催しますので「何かボランティアをしてみたい」「いろんな方のお話を聴けるようになりたい」という方は、ぜひご参加ください。

詳しくは下記の「お知らせノート」をご覧ください。



和やかな雰囲気の中で会話も弾みました

### 全市

## 新たな形で情報をお届けします

### 声の広報デジタル録音研修



6月13日(木)に全体研修を開催し、その後は班ごとに研修を行っています

横手市から委託を受け、市内の視覚障がい者の皆様に発行している「声の広報」のデジタル化に向け、作成に携わる「朗読ボランティアまんさくの会」会員を対象とした研修を行っています。

現在、専用の録音機器を使ってカセットテープに吹き込んでいますが、デジタル化によって、パソコンを使ってCDに吹き込み提供することになります。音質の向上や検索機能が付くなど、ご利用者の利点のほか、編集が容易になりボランティアの作業負担軽減にもつながります。

慣れない操作に戸惑いもあるようですが「皆さんによりよい声の広報を届けたい」との想いで今後も研修を重ねていきます。

※「声の広報」とは、横手市報や議会だより等をカセットテープに吹き込み、声で情報をお伝えするもので、平成26年度からはデジタル化(CD録音)を予定しています。

て、自動販売機と募金箱の設置を促進しています。身近な場所で手軽にできる社会貢献としてぜひご検討ください。なお、ご協力いただいた場合は、県共同募金会HPや各種チラシにお名前を掲載させていただきます。



秋田県共同募金会と横手市共同募金会では、赤い羽根いつでもどこでもキャンペーンと題して

### 「赤い羽根募金箱・自販機」で社会貢献

- 大森福祉センター ☎ 56-2072 (担当:福岡)
- 大雄福祉センター ☎ 26-3274 (担当:佐藤)
- 大雄福祉センター ☎ 52-3311 (担当:山本)

### ◆お申し込み

- 雄物川福祉センター ☎ 56-2072 (担当:福岡)
- 大森福祉センター ☎ 26-3274 (担当:佐藤)
- 大雄福祉センター ☎ 52-3311 (担当:山本)
- 会場 雄物川コミュニティセンター
- 日時 平成二十五年九月三日(火)、六日(金)、一〇日(火)
- 13時30分～15時30分(二〇日のみ10時～)
- 参加ください。

### 傾聴ボランティア養成研修のご案内





わたしの  
まちの

## いきいきサロン

6.4(火)



### 大森

板井田地区いきいきサロンでは、地域のマップづくりを行い、今後の活動の活性化や地域のつながりなどの意見交換を行いました。

6.27(木)



### 十文字

二ツ橋地区いきいきサロンでは、頭脳ゲームなどのほか、職員と一緒に地域の課題についての意見交換も行いました。

7.7(日)



### 山内

上平野沢地区いきいきサロンでは、スカットボールで交流しました。たくさんの方が集まり、健康づくりに汗を流しました。

増田

## 地域のことについて語ろう

老人クラブ女性リーダーとの座談会



女性部会の10名と地域のことについて話し合いました

7月9日(火)、増田福祉センターでは、増田地域老人クラブ連合会女性部会と一緒に座談会を開催し、地域の課題解決に向けた話し合いを行いました。座談会では「地域のいいところ」「地域で困っていること」を出し合い、それを踏まえて自分たちができることを考えました。

いいところを「近所同士の助けあいや交流がある」と挙げる方がいれば、困っていることが「雪による近所のトラブル、交流の場が無い」という方もいるなど、地域によって状況の違いがあり、今後、うまくいっている地域の取り組みを参考にしながら、課題解決につなげていこうという意見もありました。

社協としても、このような機会に積極的に出向き、地域の課題解決に向けて住民の皆さんと一緒に活動していきます。

### ボランティア団体会員募集

#### 「大森町手話会」

大森町手話会(代表:丹寿子さん)では、手話の勉強会などを行っています。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

◆会員数 十二名

◆活動内容 聴覚障がいの方との手話の勉強会(毎月第二・四土曜日 19時~21時、大森コミュニティセンターほか)など

◆年会費 五〇〇円

◆お問い合わせ 大森福祉センター

◆お問い合わせ 大森福祉センター

#### 「朗読ボランティア「まんさく」の会」

市内の視覚障がい者の皆様への「声の広報」を作成している朗読ボランティア「まんさく」の会(代表:宮野榮子さん)では、一緒に活動していただける方を募集しています。あなたの声を「声の広報」としてお届けしてみませんか?

◆会員数 二十一名

◆活動内容 市報や議会だよりの発行時期に合わせて、Yぷらざでの読み合わせや、すこやか横手で録音作業を定期的に行っています。

◆お問い合わせ 横手福祉センター

☎33-8668(担当:佐々木)

◆お問い合わせ 横手市共同募金会

(横手市社協本部内)

☎36-5377(担当:大坂)

# ふくしの窓

雄物川福祉センター指定居宅介護支援事業所



## ご利用者・ご家族・地域に寄り添ったサービスを

当事業所では、主に雄物川地域を担当エリアとし、5名の介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護認定を受けられた方に対して介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護サービスの円滑な利用につなげ、ご利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるようお手伝いをさせていただいています。

また、ご自宅で介護されている方や、これから介護サービスを利用される方などの不安や悩みが少しでも和らぐよう、24時間いつでも対応が可能な体制を整え、介護に関する相談にも対応させていただいています。

このようなサービスが適切に提供できるよう各種研修会への参加のほか、毎週ミーティングを開催し、ご利用者に合わせた支援方法を検討したり、医療との連携や認知症の方への対応、対人援助技術などを職員全員で情報や技術を共有し、一人ひとりの資質向上に努めています。これからも地域に密着した事業を展開していきます。



ご家族の想いも大切に、ご利用者一人ひとりに合ったサービスにつなげます（写真は佐野傳様のご家族と）

### ご利用者の佐野傳様（大沢）のご家族 英子様より

今は週2回のデイサービスを利用しており、本人も行く日を楽しみにしています。二人暮らしなので、介護について困ったことがあればすぐに相談でき、すごく助かっています。

■所在地…横手市雄物川町今宿字鳴田150番地

■電話…56-2077 ■FAX…23-1817

■営業日…月～金曜日（祝祭日、12/29～1/3を除く） ■職員数…5名

## 社協職員のある一日

地域福祉活動日記

大雄福祉センター 地域福祉係

山本 保

私が担当する大雄地域は、横手市で最も面積が小さく、見守りしやすい地域ではあります。地域の生活問題などは複雑多岐にわたっています。

先日、ある高齢者のお宅で活動する傾聴ボランティアとの打ち合わせがあり、最近の様子などを伺いながら、今後の活動等について話し合いました。地域から社協に相談があった当時は、外部との接触を拒まれていたが、民生委員等との連携によりボランティアを受け入れてくださり、最近では訪問日を楽

しみにされています。

このように、様々な方々と連携・協力しながら、住民の生活を支えていく活動が必要と考え、毎年、ネットワーク会議と題して各地域に出向き、みんなで地域の問題や課題の解決に向けて取り組んでいけるよう話し合いを進めています。特に、地域の日頃の見守りや気づきが大切と考えていますので、皆様と協力しながら住みやすい地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。



六月二十一日の傾聴ボランティアの皆さんとの打ち合わせの様子。毎月一回、今後の福祉活動につながるよう情報交換を行っています。

# 善意

## ありがとうございました

平成25年5月1日～6月30日受付分

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。  
※「善意」の受付は、横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

### 【横手福祉センター受付】

- 富 沢 茂 様 ( 碓 )
- 石 川 伸 様 (明永町)
- 村 上 陸 様 (寿 町)
- 齊 藤 フ ミ 様 (大屋新町)
- 佐 藤 良 子 様 (南 町)
- 鈴 木 由紀子 様 (平鹿・浅舞)
- 佐 藤 藍 様 (本郷町)
- 佐々木 壽 一 様 (雄物川・柏木)
- 堀 江 茂 寿 様 (間明田)
- 安 藤 詔 子 様 (上真山)
- ハイレンデ・ムジーク 様
- ボランティアグループ「わたぼうし」 様
- 横手清陵学院中学校・高等学校 様
- プルタブばあさん 様
- 朗読ボランティア「まんさく」の会 様
- 大森女性コーラス 様
- おはなし大すきの会 様
- 演歌クラブ会 様
- 金沢民謡同好会 様
- 朝友会 様
- 横手市勤労者互助会女性部 様
- とっぴんぱらりのプー 様
- 新日本舞踊扇佳流優扇会 様

### 【増田福祉センター受付】

- 阿 部 菊次郎 様 (一本柳)
- アンサンブル・リベラ 様

### 【平鹿福祉センター受付】

- よねや浅舞店 様

### 【雄物川福祉センター受付】

- 奥 山 吉 夫 様 (下小路)
- 坪 井 幸 子 様 (新 丁)
- 雄物川地域老人クラブ連合会 様

### 【大森福祉センター受付】

- 芝桜フェスタ実行委員会チャリティ野点 様

### 【十文字福祉センター受付】

- 十文字地域老人クラブ連合会女性部 様
- アンサンブル・リベラ 様
- おはなしほぼぽ 様
- 傾聴ボランティアささやき 様
- 増田高等学校農業科学科 様
- 寿会 様
- 西上友愛会 様
- 梨木高寿会 様
- 喜楽会 様
- 福寿クラブ 様
- 田屋さくらんぼ会 様

### 【山内福祉センター受付】

- 畑 則 子 様 (横手・朝倉町)

### 【大雄福祉センター受付】

- 阿気小学校 様

- 梅 若 梅 一 様 (大 森)
- 浅 野 寿 恵 様 (秋田市)
- 新日本舞踊扇佳流扇好会 様

### 【平寿苑受付】

- 後 藤 照 子 様 (埼玉県)
- 柴 田 ヒ デ 様 (吉 田)
- 傾聴ボランティアささやき 様
- 平寿苑草刈隊 様

### 【雄水苑受付】

- 照 井 耕 二 様 (上 野)
- 桂 幸 男 様 (中 島)
- 下 村 蔵之助 様 (沼 館)
- 遠 藤 辰兵衛 様 (覚町上)
- 雄川大学学生一同 様
- 傾聴ボランティアひまわり 様
- アンダンテの会 様
- 沼館保育園 様
- 雄物川手話サークル 様
- 雄物川地域老人クラブ連合会 様
- よこて市商工会女性部 様
- よこて市商工会女性部雄物川地区 様

### 【憩寿園受付】

- 神 原 實 様 (八兵工丁)
- 鈴 木 トクエ 様 (八兵工丁)
- JA秋田ふるさと三重女性部三重婦人会 様
- 傾聴ボランティアささやき 様



### 協同組合横手卸センター様よりご寄付をいただきました

横手市社協が協力会員となっている協同組合横手卸センター様が、この度、設立40周年を迎え、6月27日(木)に記念式典が行われました。その席上において、本会に対して多大なご寄付を頂戴いたしました。この寄付金は、地域福祉の向上のために有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

次号 (10月1日発行)  
テーマは…「食」

何はともあれ「食欲の秋」。次号のテーマは、健康にも大切な「食」です。

【応募方法】 市内在住の方ならどなたでもご応募できます。作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072 横手市卸町5-10  
横手市社会福祉協議会  
「ふくし川柳」係  
FAX : 36-5388  
e-mail : tiiki@yokote-shakyo.jp  
◆締切日:平成25年8月30日(金)

【広報掲載】 ご応募いただいた作品の中から数点を選考し作品、氏名等を掲載いたします。

- 一、 宅配に 家族の愛が 往復し  
ベンネーム 雅ちゃん/増田
- 一、 九十余 家族をたより 杖いらす  
柴 田 榮さん/雄物川
- 一、 まめだかと 気づかう家族 元氣出る  
ベンネーム 洋子バツパさん/大森
- 一、 年老いて 家族の有難さ 今分かる  
栗 林 サ タさん/大雄
- 一、 転ぶなよ 家族の声で ほっとした  
ベンネーム 上 丁 里 子さん/大雄
- 一、 ひ孫来て 家族の顔が 恵比須顔  
大 和 チ ヨさん/山内

ご応募ありがとうございました

テーマ  
家族

たくさんのお応募作品の中から六点をご紹介します。(順不同)

福祉を詠めば福来たる  
ふくし川柳



# ふくしな人たち

ボランティア個人・  
団体の活動から

## 久保和子さん(増田)



久保さんは、ご自身の足に障がいがありながらも、市報等を点訳し視覚障がい者の方々へお届けする「点訳ボランティア」として活躍されています。「何か地域のために役に立てれば」と点字講習会を受講してから15年。今では「点字広報」を待っている方々を思い浮かべながら、ライフワークとして他の仲間と一緒に楽しみながら活動しています。

また、長年にわたって地域の福祉協力員としても活動されており、高齢者宅への声掛けや交流行事への参加呼びかけをはじめ、ご自身も地域行事に積極的に参加し、みんなから頼られる、慕われる存在となっています。

自分のこうした活動が、同じく障がいのある方々がもっと地域に出てくるきっかけになればと語る久保さん。

健康に気をつけ「生涯現役」をモットーに、地域のため、障がいのある方々のため、これからも精力的に活動を続けていきます。

福祉教育推進校の活動から

## 横手市立植田小学校(十文字)

植田小学校では、地域の高齢者との交流を目的に年間を通して福祉活動を行っています。

春と夏には、ベゴニアの鉢植えとさつま芋の苗を植え、グリーン&エコ委員会を中心に全校児童が除草や水やりを行い、秋にはベゴニアを地域のお一人暮らしの高齢者に、さつま芋を地元の高齢者福祉施設のご利用者にプレゼントしています。また、お一人暮らしの高齢者には、学習発表会のご案内を兼ねた暑中見舞いを送るなど、地域とのつながりを大切にされています。

校長の鈴木秀先生は「活動を通じて“自分たちができること”で“みんなを元気にできる”ということを見童が自然と理解している。今後も地域とのつながりをより一層深めていけるよう活動していきたい」とお話しくださいました。

福祉の心があふれる『植田っ子』パワーで、これからも地域を元気にしていきます。



児童みんなで育てた「さつま芋」を地元の高齢者福祉施設へ



地域で福祉活動や地域貢献活動などを行っている個人、団体、企業等の情報をお寄せください。掲載数等により紙面の大きさが変わることがありますが、皆様の活動を紹介させていただきます。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377  
横手福祉センター TEL.33-8668  
増田福祉センター TEL.45-4848  
平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072  
大森福祉センター TEL.26-3274  
十文字福祉センター TEL.42-5858  
山内福祉センター TEL.53-3009

大雄福祉センター TEL.52-3311  
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011  
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561  
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388  
E-mail shakyou5@agate.plala.or.jp ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

この「横手市社協だより」は、社会福祉協議会と共同募金の配分金を活用して発行しています。